

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● E-mail: ga-tpc@ginza.co.jp

● このNEWSLETTERは、銀座通連合会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています ●

銀座街づくり会議では、これまで「銀座の街並みを考える」と題したシンポジウムを、継続して開催してきました。その第4回目として、プロムナード銀座2004・催事期間中に「どう描く？ 銀座の将来像 ー都市再生とは何だろう」を開催しました。まちづくりや都市計画の

専門家8人をお呼びし、銀座について様々な観点から論じて頂きました。当日は、非常に活発な議論が交わされました。

今回のニューズレターでは、このシンポジウムの内容をご紹介します。

銀座の街並みを考える4

「どう描く？ 銀座の将来像

ー都市再生とは何だろう」

★ 地元自らが将来像を選択するとき



!! 「象と犬ぞりの犬」

最初に蓑原敬さんより、カリフォルニア大学のリチャード・バンダー教授の「象と大ぞりの犬の例」が紹介されました。それは一匹の大きな象に牽かれています、ひとつの道筋しかたどれないし、その象がいったん病気になるれば止まってしまいます。象の餌も大変だ。しかし多くの犬に牽かれるそりであれば、一匹が倒れても前に進める。チームを分け、違う道筋を追うこともできる。互いに暖めあうこともできるし、群を再生産させることもでき、持続性が保障されている。まちも同じたといえて語ることができるのではないかと、いつも思います。

各先生方より議論…

その問題提起を受けて、各先生方からは以下のような意見がありました。「銀座は特別な場所。その特別な性質を維持し持続的に発展させることは、日本、世界に対し重要な意味をもつ。

脈、歴史を維持するということには建て替えるなどということではない。むしろ

どんどん建て替えるながら残すべきDNAを強化していくことが大事。」

「都市が持続するためにはリダンダン

ー(冗長性)と多様性が必要。その対

極が焼き畑方式。これはグローバルな

資本にとっては有効な戦略となるが、

銀座のような小さなオーナーがファミ

リービジネスをしているような街は、

それとは全く違う行動原理をつくって

いかななくてはならない。」

「政策とアカデミズムは、『象』に対

抗しうる価値を提示できていないのが

現状。まちづくりといながら、デベ

ロッパーはプロジェクトファイナンス

という経済原理で動いている。善人の

論理ではそれには勝てず、知恵とチー

ムワークが必要。自分たちの世代では

なく、次・次の次の世代のためにやっているんだということを忘れないように。」

シンポジウム概要

「どう描く？ 銀座の将来像 ー都市再生とは何だろう」

●10月23日●14時～17時(13時半開場) ●十字屋ホール●

問題提起 「日本の都市、街、そして銀座がかかえる課題について」

蓑原敬(都市プランナー)

パネルディスカッション

大方潤一郎(東京大学教授)

内藤廣(東京大学教授)

倉田直道(工学院大学教授)

コーディネーター 小林博人(株)小林・楨デザインワークショップ

大野秀敏(東京大学教授)

中井検裕(東京工業大学教授)

岡本哲志(岡本哲志都市建築研究所)

主催：全銀座会

銀座街づくり会議

全銀座会催事実行委員会

銀座通連合会

後援：中央区

★2枚目に続く★



ヒューマンスケール

「YSL」 「ヒューマンスケール」も銀座を特徴づける魅力です。

「①江戸時代の街区の規模が維持されていること、②マンツーマンという商業形態、③オフィスが小さく分散して配置されている、という3つのヒューマンスケールがまちの良さを保っている。また、通りの両側町としてのコミュニティがしっかりとあり、まちのクオリティを維持してきた。」

「銀座は、3800年前にできたときのまちの構成・都市構造の原理を、明治煉瓦街建築、関東大震災復興のときにしっかりと引き受けている。それは基本的な30m、10m、20mという空間サイズが守られていること。それを維持する意志を持ち続けることで魅力を増してきた。今何を選ぶのかということが問われている。」

銀座は大資本と共栄しながら、個々の小さな店ががんばることで、栄えてきました。これからの銀座は、象にひっぱって引っ張ってもらうのか、大勢の犬たちが心を合わせて引っ張ってゆくのかわ、それが問われているのです。

会場からも様々な意見が出ました。そしてアンケートには、「もっと地元の人が語り合える場所がほしい」との意見がありました。またたくさん通ります。街づくりの会議もついでに場所を指定してほしいです。ぜひこれからも協力をおねがひします。



2005年1月21日に 「街づくりワークショップ・成果報告会」を開催します

プロムナード銀座2004期間中に開催致しました2回のシンポジウムも無事に終え、また大変有意義な内容で好評を得ることができました。多くの方にご参加頂き、本当にありがとうございます。

これまでのシンポジウムの議論もふまえ、銀座街づくり会議では現在、調査・研究を進めております。その内容については、このニュースレターでも少し紹介させて頂きましたが、その成果を一旦まとめ、右記の日程で「成果報告会」を開催する予定であります。

年始のお忙しい時期と存じますので、取り急ぎ日程のみお知らせ致します。詳しい内容、スケジュール等は、またニュースレターにてお知らせ致します。

どうぞご参加下さい。

- 日時●
2005年1月21日（金）
14時～17時
- 場所●
中央区立京橋プラザ区民会館
多目的ホール
- 内容●
銀座街づくり会議ワークショップ
・銀座の空間ルール
・銀座地区計画について etc...
- 参加者●
蓑原敬(都市プランナー)
倉田直道(工学院大学教授)
岡本哲志(岡本哲志都市建築研究所)
小林博人
(株)小林・槇デザインワークショップ)



シンポジウムのビデオを貸し出しています

ニュースレターVol.7そしてこのVol.8で紹介しましたシンポジウムのビデオを貸し出ししております。すでに社内研修会等にご利用いただいております。ぜひ町会や各店舗での勉強会などにお役立てください。

- ① 10月21日「世界都市のなかの銀座」 ※1本約2時間
- ② 10月23日「どう描く？銀座の将来像 —都市再生とは何だろう」 ※2本組約3時

お問い合わせは、銀座街づくり会議まで。（このニュースレターの頭に連絡先がございます。）
また、議事録も作成しております。でき次第ご報告致しますので、もう少々お待ち下さい。

